

編集後記

今年の4月から本誌の編集委員の一人として加えていただきました。『整形・災害外科』はコンパクトに有益な情報が掲載された私の愛読書であり、私自身も何度も寄稿させていただいた雑誌です。その編集委員に加えていただいたことを心より光栄に思います。山下敏彦先生の後任としては、甚だ力不足ですが、読者の皆様に役立つ情報をお届けできるよう、本誌の充実に貢献できればと思います。

さて2019年の年末に端を発したコロナ禍も、2022年6月現在は落ち着きつつあります。つい先日、日本整形外科学会学術総会が神戸で開催され、現地参加をメインとする日整会は3年ぶりのことでした。発表ごとに会場を移動することは大変懐かしく感じましたし、現地参加型の演題発表や討論はwebとは異なる盛り上がりがあり、“これぞ学会”という雰囲気を感じました。これまでオンライン会議ではお顔を拝見してきた先生方と久しぶりに直接お目にかかれたことも、懐かしい柔らかな空気感とともに大変充実した時間となりました。学会現地参加の重要性を再認識できた学術総会でしたが、今後webの利便性は残しつつ、現地参加ができると良いと思っています。

大学医学部ではポリクリの学生さんが整形外科を回ってきますが、コロナ禍における学会同様、活動が制限されておりました。ようやく最近では、患者さんと接する診察研修や対面授業も許可され、ほぼ従来のカリキュラムを達成できるようになってきています。しかし未だに開催が憚られるのが学生さんとの食事会です。整形外科に必須のチームワークを学生さんに感じていただくために、いわゆる“飲み会”はとても良

い機会なのですが、まだ大人数での開催は難しい状況です。飲み会が解禁になるまで、せめて学生さんとfree talkの時間をとりたいと思います。講義以外に教授室でのfree talk時間を設けています。これが学生さんに好評かどうかはまだわかりませんが、質問コーナーでは長ければ1時間質問攻めに遭ったこともありますので、反響はますます勝手に思っています。学生さんも、コロナ禍の限られた時間の中でいろいろと有益な情報を得たいと必死なのだと思います。コロナ禍においてもできる限りの温かく人間味のあるコミュニケーションを重視し、整形外科の魅力ややりがいを伝え、整形外科医の増加、整形外科の発展に少しでも繋げていければと思います。

さて、本号では札幌医科大学整形外科の寺本篤史先生のご立案で「足関節周囲外傷の治療」を特集として取り上げていただきました。足関節周囲外傷は、スポーツを含めて頻繁にみられる外傷であり、整形外科医にとって必須の知識といえます。靱帯損傷の診断・治療に始まり、足関節骨折、軟骨損傷、腓骨筋腱脱臼の治療のほか、術後リハビリテーションに至るまで、幅広く解説されています。この素晴らしく充実した内容を、ぜひ日常の診療にお役立ていただければと思います。

これから夏本番を迎えます。今夏もラニーニャ現象が続く、猛暑が予想されています。コロナ禍が再燃して再び厳格なマスク着用が必要にならないことを、心から祈っています。

(今釜史郎)

「整形・災害外科」第65巻 第8号 (7月号) 2022年7月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 2,860 円 (本体 2,600 円 + 税 10%) 年間購読料金 定価 44,660 円 (本体 40,600 円 + 税 10%) [年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代] [年間予約購読者に限り送料無料]	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
--	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。